

## 予算特別委員会Q & A

### 市政全般・市民生活・消防

#### ◎財政調整基金

**Q** 予算編成時に財源不足を補う調整機能である財政調整基金の位置づけ、もしくはあり方について市の見解は。

**A** 市財政の円滑な健全運営を図るため、標準財政規模の10%程度は、残高を保持できるように努めたい。

#### ◎環境基本計画策定委託

**Q** 環境基本計画策定委託の内容は。

**A** 地方自治体による大気、水質保全、あるいは地球温暖化等の環境政策の総合とした基本方針や施策方針をまとめる計画。自然環境の基礎調査、道路大気環境調査、河川水生生物調査の3点が主な調査となる。

#### ◎小川文化センター施設維持管理費

**Q** 小川文化センターの施設維持管理費として、2年間にわたる改修工事の内容は。

**A** 平成31（翌年度）にかけて、大ホール及び小ホールの特定天井改修工事、大ホールの座席交換更新、非常自家発電の更新工事、2F会議室へのエレベーター設置工事等を行う予定である。



▲小川文化センターアピオス（大ホール）

### 教育・福祉・医療

#### ◎教職員の働き方改革

**Q** 超過勤務時間の縮減と勤務時間の適正化に向けた市教育委員会の取り組みは。

**A** 平成30年度より、学校閉庁日を6日間設けた。また各学校には、ノー残業デー、定時退勤日、リフレッシュデー、年次休暇を計画的にとる話し合いなどが行われ、進められている。

**Q** 放課後子ども教室と放課後児童クラブの違いは。

**A** 放課後子ども教室は全ての児童を対象に、放課後及び休日小学校の空き教室や特別教室などにおいて、多様な体験活動の場を提供し、放課後を安全、安心に過ごしてもらえようとする事業で放課後児童クラブは保護者が労働等で昼間家庭にいない児童が対象である。

都市建設・産業経済

◎農地中間管理事業

**Q** 経営転換協力金補助金※の平成30年度の実績と今後の見通しは。

**A** 平成30年度は経営転換された方が9名で4.1ヘクタール、農業を辞めた方が4名で3.8ヘクタール、合計275万1000円交付した。近年の実績を見ると今後もほぼ横ばいの数字が続くと考えている。

※経営転換協力金補助金とは…農家が経営を転換したり、農業を辞める場合に所有農地すべて農地中間管理機構に貸し付けた場合に、10アールあたり3万5000円交付される補助金。

◎つくば霞ヶ浦りんりんロード整備事業

**Q** 整備内容は。

**A** 平成30年度は経営転換され茨城県が策定した水郷筑波サイクリング環境整備事業総合計画に基づき、霞ヶ浦沿岸道路に自転車道路であることを示す路面表示をする事業である。

○霞ヶ浦沿岸には桜やコスモス、菜の花等、地域の方が手入れをしている小美玉市の観光資源が多く有るので、湖岸公園も含めて市のPRとなるような標識も設置してほしい。



▲自転車道の路面表示イメージ

寄附行為等の禁止

ご理解・ご協力を  
～虚礼廃止について申し合わせ～

議員個々が改めて法令を遵守し、市民の信頼に応えた政治活動を担保するため、虚礼廃止の申し合わせを行っております。

議員が選挙区内の有権者にお金や物を贈ることは法律（公職選挙法）で禁止されています。また、有権者が寄附を求めることも禁止されます。

皆様のご理解ご協力をお願いします。



# 常任委員会 Q & A

小美玉市議会には3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）があります。議員はいずれかの委員会に属し議案審査に当たります。3月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

## 総務

### 総務

(委員)

島田 川本  
長村 和  
大石 小  
岩 植

### ◎市税督促手数料

**Q** 総務手数料として、市税督促手数料が減っているが、削減された件数は。

**A** 督促状の発送件数は、平成29年度は1万9400件、平成30年度は1万8900件（見込み）で、500件の減少となっている。

督促手数料収入を減額補正した理由は、督促状発布件数の減少による収入減のほか、収納率の向上等による滞納繰越調定額の減少に伴う収入減によるもの。

### ◎消防費

**Q** 消防費を経費削減したのは、教育訓練中、救急救命士の研修生が体調不良により入校を辞退したということだが、代わりの者はいなかったのか。

### A

救急救命士の養成は、2年前から入校者を決定している。1年前から定期的に救命所の学力テストを行うほか、県の学力テストを行うことが必要のため、代理者を入校させることが困難だった。今回は入校辞退ということなどで、減額となった。



▲総務常任委員会の様子

## 文教福祉

(委員)

口木 川田 井 仲 井  
関 鈴 荒 戸 藤 谷 石

### ◎介護給付費準備基金

**Q** 積立金は妥当なのか。限りなく積み立てるのか、その考え方は。

**A** 第7期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画において、3年間で基準に介護保険料等を決めている。第8期介護サービス計画を立てるに当たって、今後のサービス事業量や基金の妥当な金額など検討していく。現在の基金積立金は、保険料等も含め妥当な金額ではないかと考えている。

### ◎放課後児童対策事業

**Q** 放課後児童クラブの預かる時間の延長を。

**A** 平成31年4月から午後6時30分まで延長できるよう進めていく。

## 産業建設

(委員) 谷村 村目 梶島  
幡木 野笹 大福

### ◎繰越明許費

**Q** 被災農業者向け経営体育成支援事業補助金の繰越理由は。

**A** この事業は、平成30年10月の台風24号により、甚大な被害を受けた農業施設の再建を支援する補助金。対象者12名のうち5名が年度内の再建が完了しないため繰り越すもの。

**Q** 土木費の繰越事業が多いが、その理由は。

**A** 事業ごとに若干事情が違う。年度内完了を前提とした予算を組んでいるが、用地交渉の困難箇所や交通規制の調整、埋蔵文化財の調査等、諸事情により年度内に事業完了できないものが多い。

### ◎下水道事業

**Q** 下水道接続率アップのための取り組みは。

**A** 工事説明会時に接続の依頼や、市広報紙、ホームページでの接続のお願い、接続支援補助金対象者への個別通知等により啓発を実施している。

**○接続率は、使用料に大きな影響を与えると考え。今後も接続率アップの取り組みに力を入れてほしい。**



▲産業建設常任委員会の現地視察

### 3月定例会(傍聴者数)

22日	19日	16日	15日	14日	12日	11日	8日	7日	6日	3月	2月	28日	日程	傍聴
議会運営委員会 全員協議会 本会議(委員長審査報告 採決、閉会)	議会活性化特別委員会	産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務常任委員会 地方創世まちづくり 特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	本会議(一般質問) 広報特別委員会	本会議(一般質問) 百里基地・茨城空港対策 特別委員会	本会議(一般質問)	本会議(開会、議案上程)	全員協議会	本会議(開会、議案上程)	会議等の主な内容	傍聴
1名	—	—	—	—	—	—	4名	4名	7名	1名	—	—		